

東京都伊豆諸島北部にレベル5土砂災害特別警報を発表

9月7日4時15分に東京都新島村にレベル5土砂災害特別警報を発表しました。

これまでの大雨で、土砂災害がすでに発生している可能性が極めて高くなっています。

大雨に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

<問合せ先>

大気海洋部業務課

電話 03-3434-9055

東京都伊豆諸島北部に レベル5土砂災害特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高い
- 命の危険が迫っているため
直ちに身の安全を確保

警戒 レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

レベル5土砂災害 特別警報を発表した地域

9月7日4時15分時点

都道府県	地域名
東京都	新島村

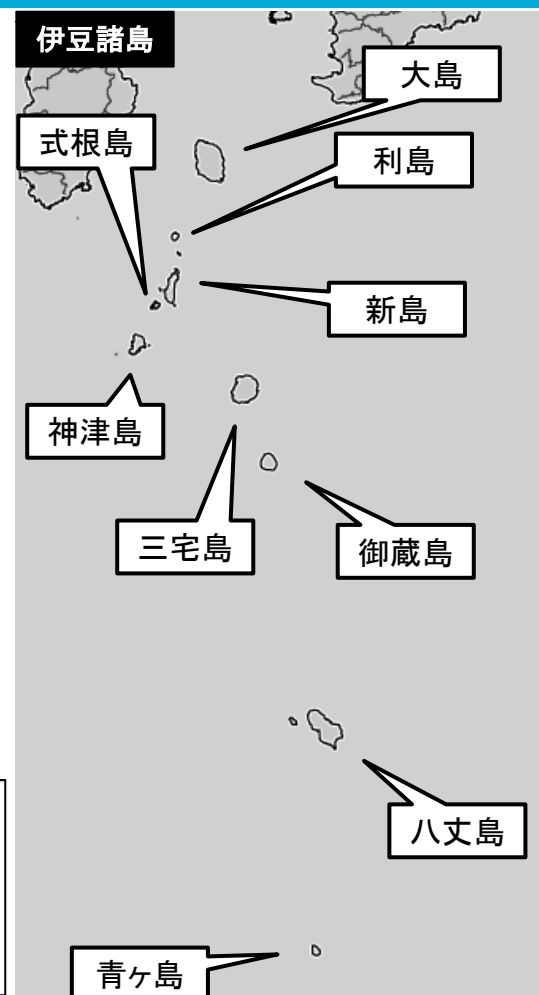
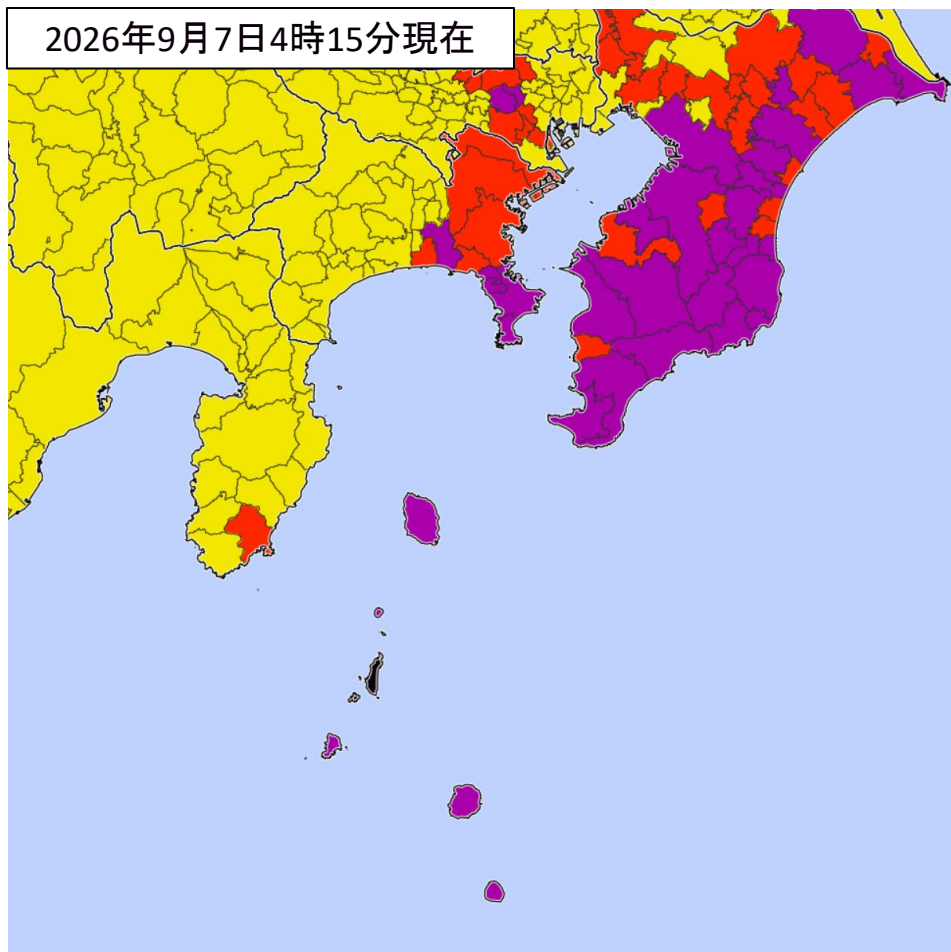
東京都伊豆諸島北部に レベル5土砂災害特別警報発表

- **今後、他の自治体にもレベル5 特別警報を発表する可能性。**
- **特別警報の発表を待つことなく、避難情報に
直ちに従い身の安全を確保**
- **今いる場所の危険度を「キキクル」で確認**

東京都伊豆諸島北部にレベル5土砂災害特別警報発表(詳細)

- 東京都新島村にレベル5土砂災害特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。
※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。
- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の自治体にもレベル5特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- まだ暗い時間帯のため、避難する際には周囲の状況を十分に確認してください。
- 地元気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル」で確認してください。

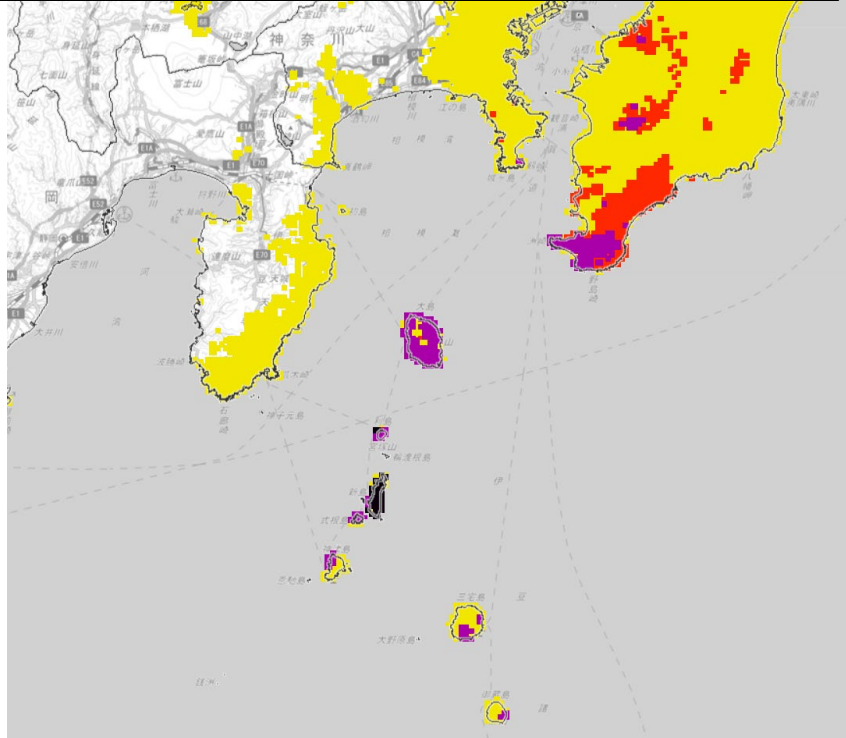
特別警報・危険警報・警報の発表状況



特別警報・危険警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

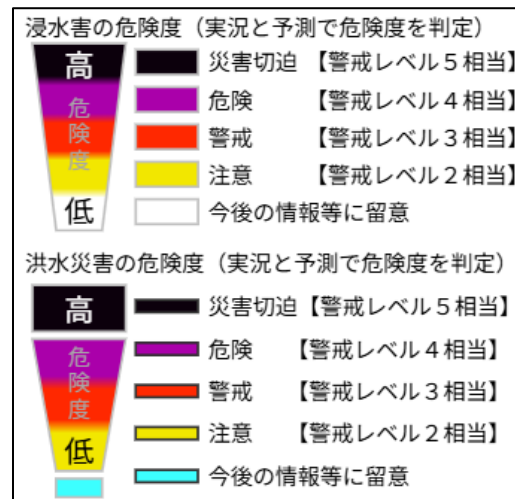
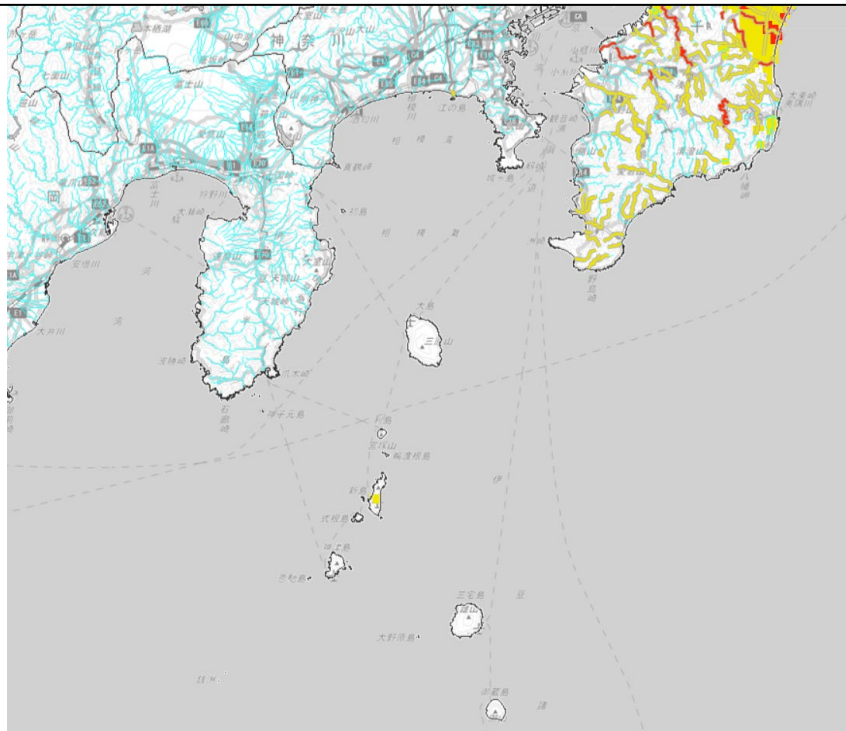
土砂災害 2026年9月7日4時00分



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（キキクル：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>）

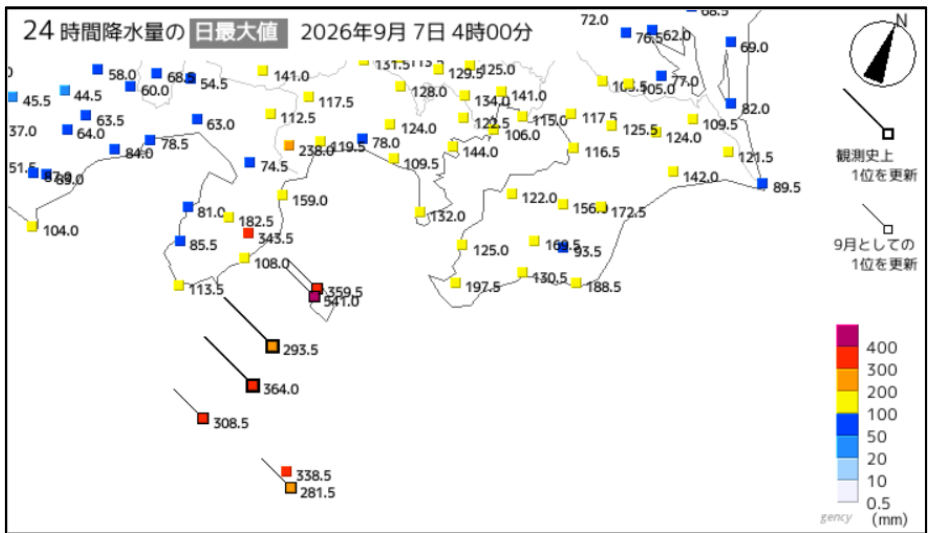
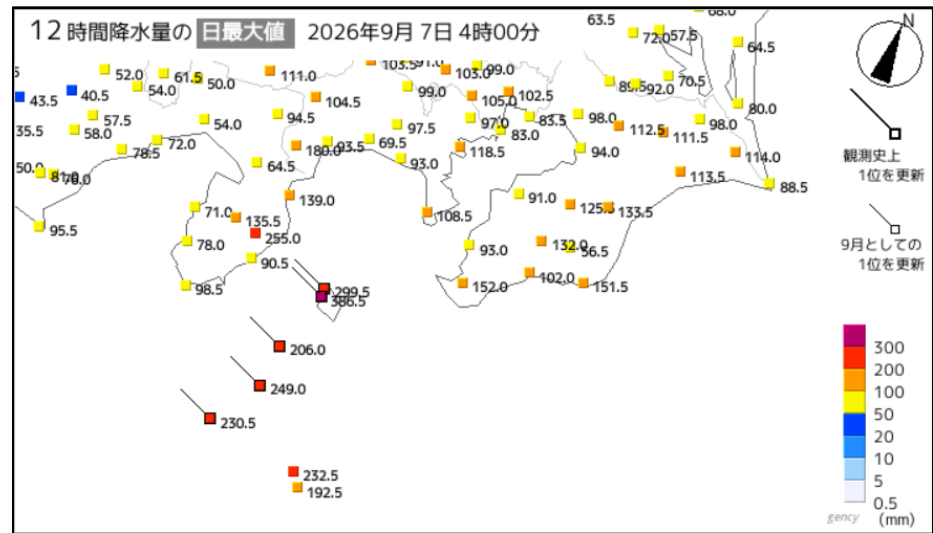
浸水害・洪水災害(重ね表示) 2026年9月7日4時00分



地図出典：地理院タイル(加工して利用)等
© Japan Meteorological Agency 2020

- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

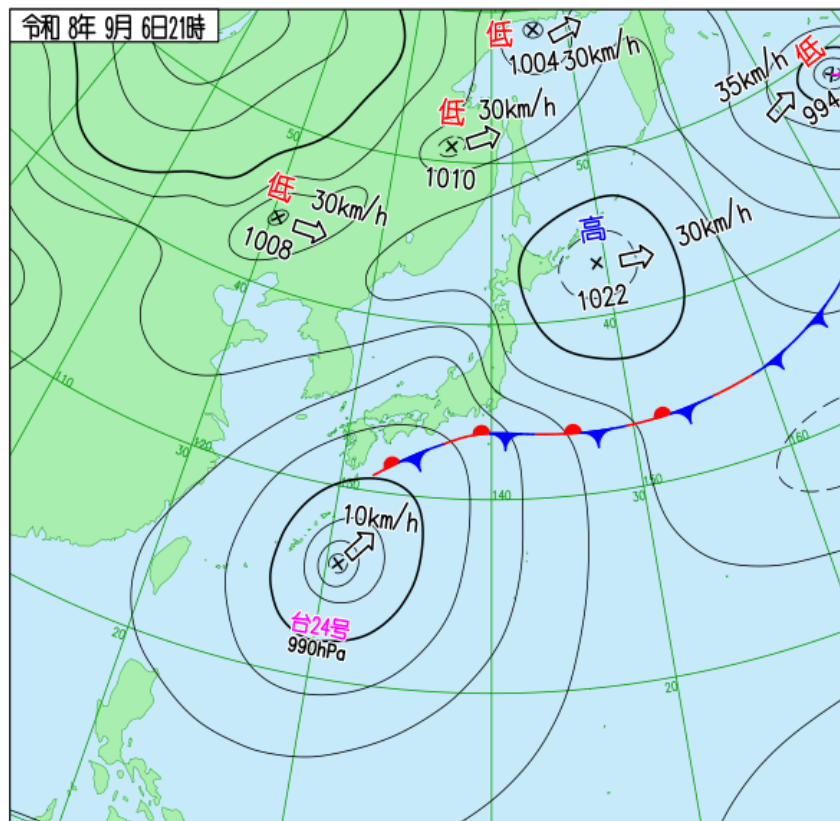
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル：https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:hazardmap&inund_flood)



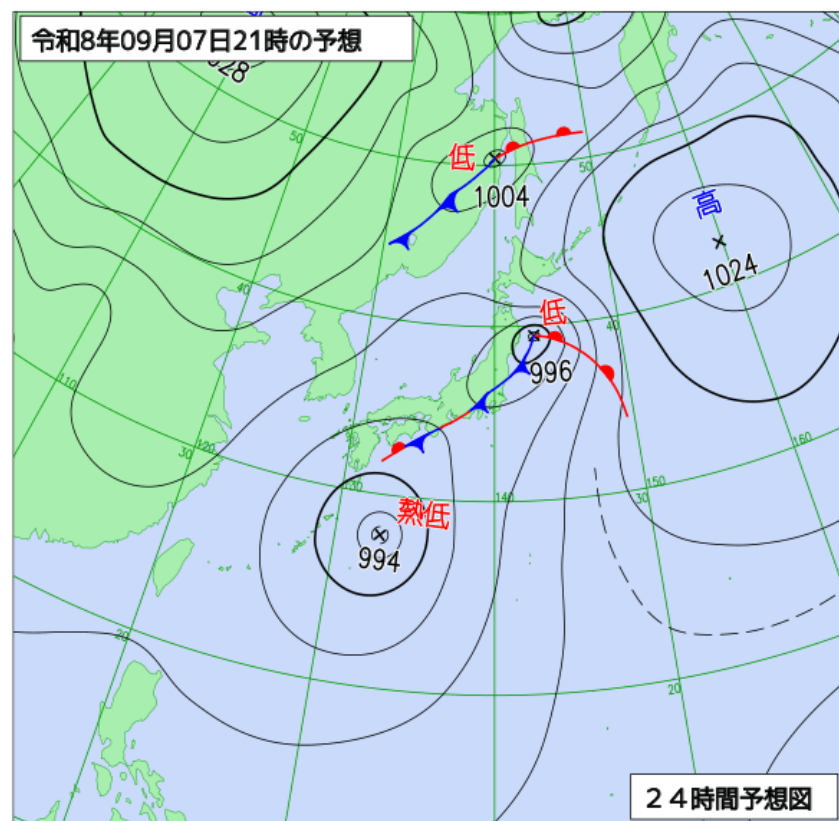
9月7日4時00分までの12時間降水量及び24時間降水量(主な地点)

市町村	地点	12時間降水量 (ミリ)	24時間降水量 (ミリ)
東京都大島町	大島 (オオシマ)	386.5 **	541.0 **
東京都八丈町	八丈島 (ハチジョウジマ)	291.5 **	364.5 *
東京都新島村	新島 (ニイジマ)	249.0 **	364.0 *
東京都三宅村	三宅島 (ミヤケジマ)	280.5 **	338.5
東京都神津島村	神津島 (コウヅシマ)	230.5 **	308.5 **

*: 観測史上1位の値を更新 **: 9月の1位の値を更新

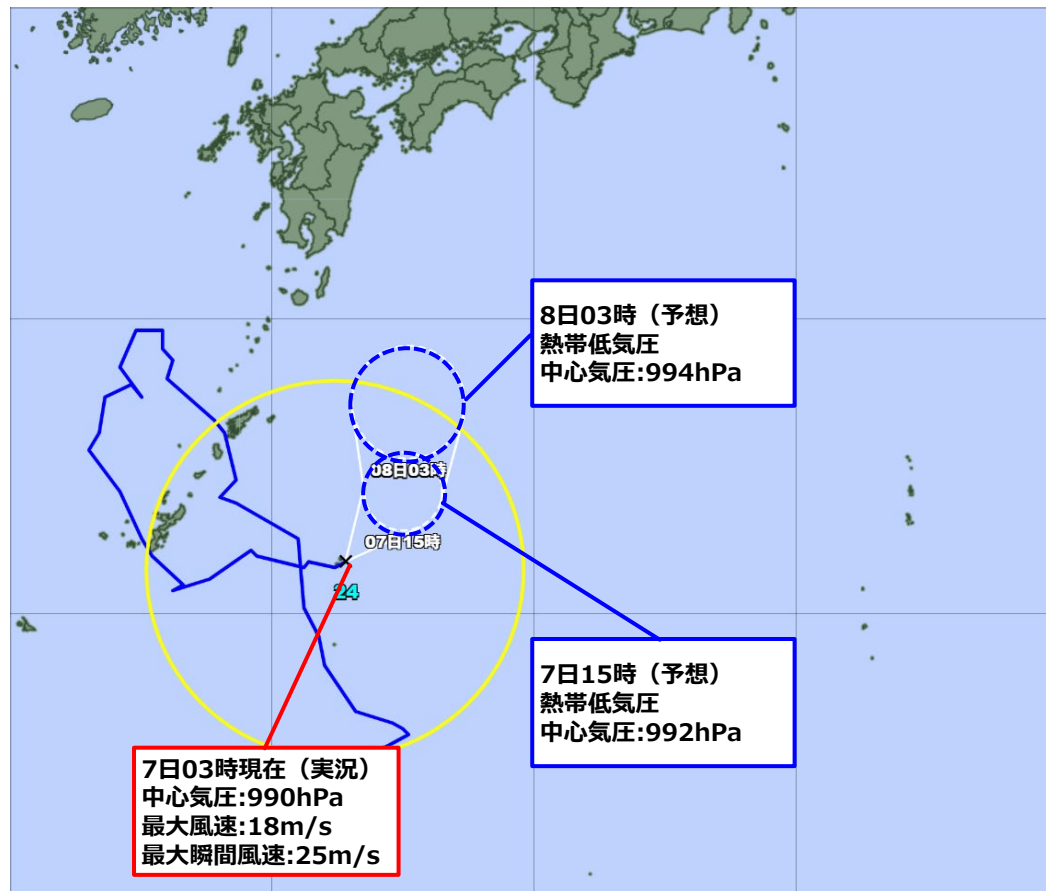


地上天気図
(9月6日21時)

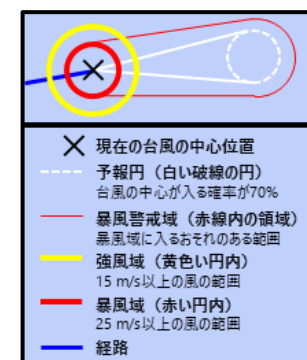


予想天気図
(9月7日21時)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)



台風経路図 (9月7日3時発表)



今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

大雨の警報級となる可能性のある期間

日		7日				8日		9日
時		00～06	06～12	12～18	18～24	00～12	12～24	
東北地方	大雨・土砂	■	■	■	■	■		
関東甲信地方	大雨・土砂	■	■	■	■	■	■	■
伊豆諸島	大雨・土砂	■	■	■				
東海地方	大雨・土砂	■	■	■	■	■	■	■
近畿地方	大雨・土砂	■	■	■	■		■	■
九州南部	大雨・土砂	■	■	■		■	■	■
奄美地方	大雨・土砂	■	■	■				

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

地域	8日06時までの 24時間雨量
関東地方北部	150
関東地方南部	180
甲信地方	80
伊豆諸島	150

単位：ミリ

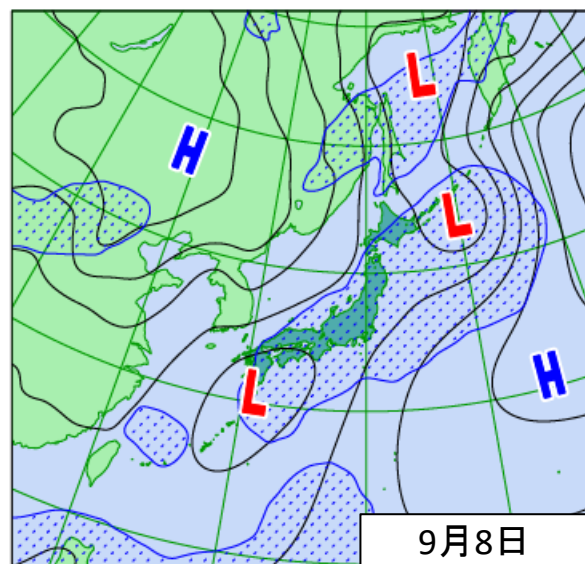
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象防災速報・気象解説情報等：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

地域	8日06時までの 24時間雨量	9日06時までの 24時間雨量
東北地方	200	80
関東地方	180	100
甲信地方	80	100
伊豆諸島	150	50未満
東海地方	150	150
近畿地方	150	150

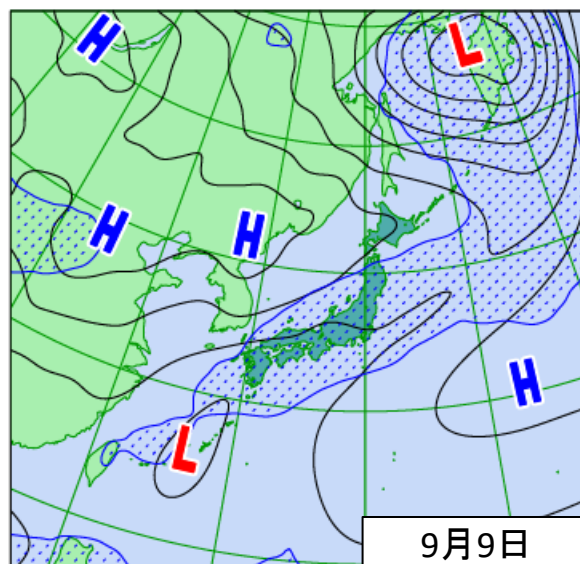
単位：ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象防災速報・気象解説情報等：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

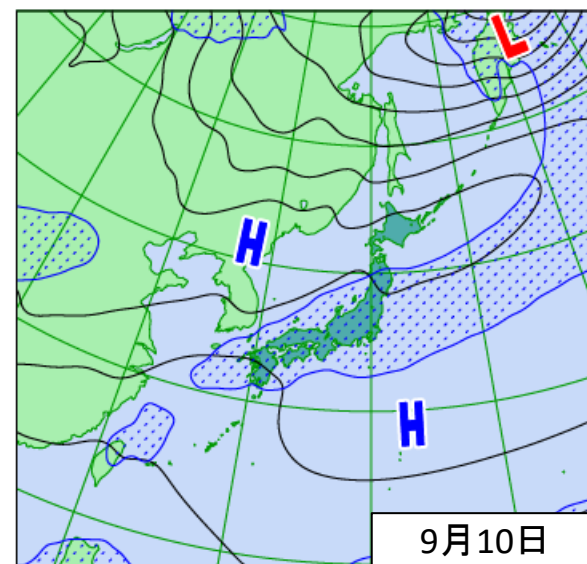
今後1週間の見通し



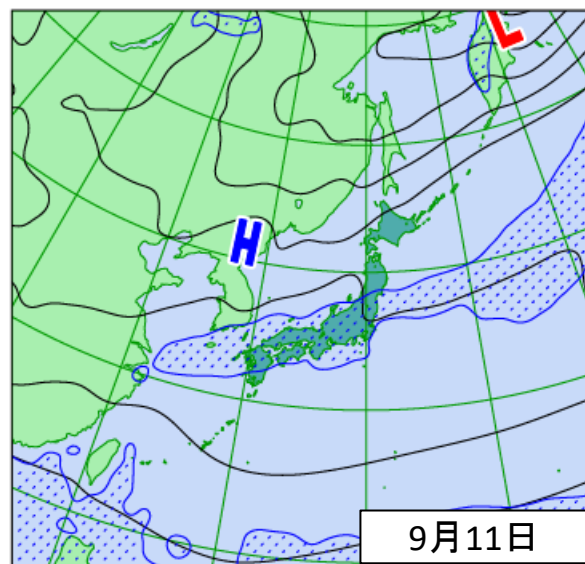
SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



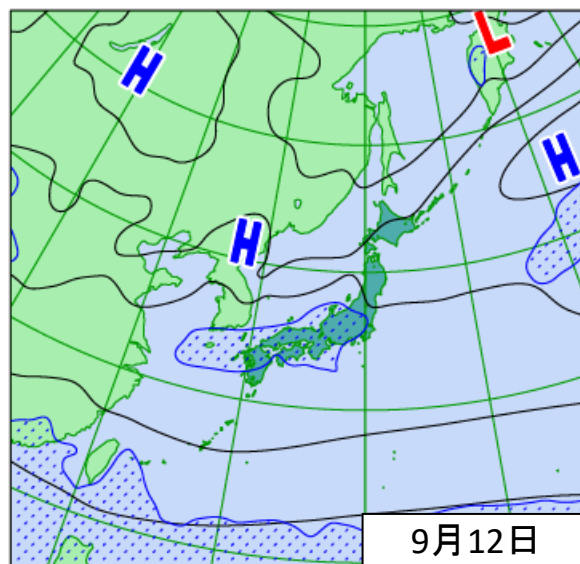
SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)



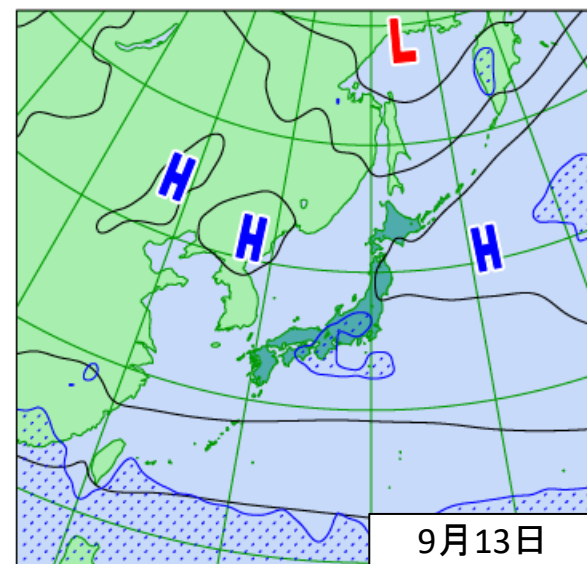
SURFACE PRESS, PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS, PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS, PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS, PRECIP(168-192)

※ハッチ域は降水が予想される地域 14

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。

気象警報・注意報

キキクル

指定河川洪水予報

気象防災速報・気象解説情報等

雨雲の動き

気象衛星ひまわり

気象庁
防災情報

[@JMA_bousai](#)
気象庁公式の防災情報アカウント
を開設しました。台風接近や大雨の
おそれがある場合等に、現況や今
後の見通し、防災上の留意点、緊
急会見の内容等を解説します。

気象庁
YouTube

気象庁の公式チャンネルです。緊急
記者会見の様などをお届けします。
最新の防災気象情報については、気
象庁ホームページやX（旧Twitter
）をご覧ください。

台風情報

天気図

降り始めからの総雨量

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

レベル5大雨特別警報が 発表されたときにとるべき行動

すでに安全な避難ができず、
命が危険な状況です
むやみに移動せず
今いる場所よりも**安全な場所へ**移動して
身の安全を確保しましょう



浸水した場所での車移動は危険！

立ち往生し水没するおそれがあります。
むやみに移動せずに安全な場所で状況が落ち着くまで待機しましょう。



河川・用水路・冠水した箇所へ 絶対に近づかない！

特に地下施設やアンダーパス、低地は短時間で
浸水する危険があります。

⚠ 浸水深30cm以上となる低地は要注意



市町村が発令する警戒レベル4避難指示までに 必ず避難しましょう！



レベル5大雨特別警報が発表される前段階から 最新の気象・避難情報を確認！

テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、防災行政無線等で
最新の情報を確認してください！



浸水リスクを確認しましょう！

ご自身のいる場所が、河川の氾濫や内水氾濫による浸水リスクがないか、
自治体が公表しているハザードマップや防災情報を確認しましょう。

レベル5大雨特別警報

が発表されたときの車運転の注意点

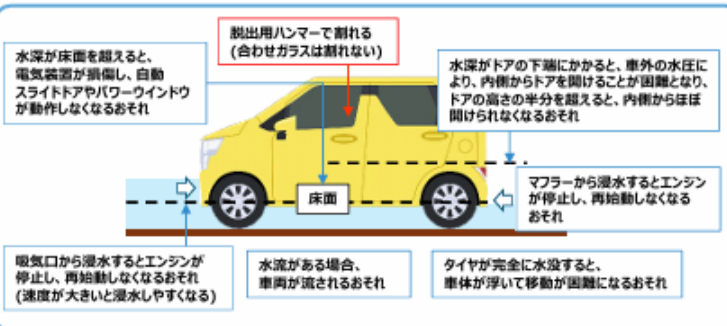
浸水が懸念されるときは
車での移動を控えてください！
冠水した道路への進入は
命に関わる危険があります
安全を最優先に行動しましょう！



車はわずか**30cm程度**の浸水でも**走行不能**になる場合があります



エンジン停止や水圧で
窓やドアが**開かなくなります**
万が一、ドアが開かなくなった場合の備えとして、
脱出用ハンマーをすぐに使える位置に！



徒歩または**早めの避難**を心がけ、
やむを得ず車を使う場合は**冠水した道路を避けてください**

(参考)大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
「キキクル」や「レベル〇〇警報等」を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

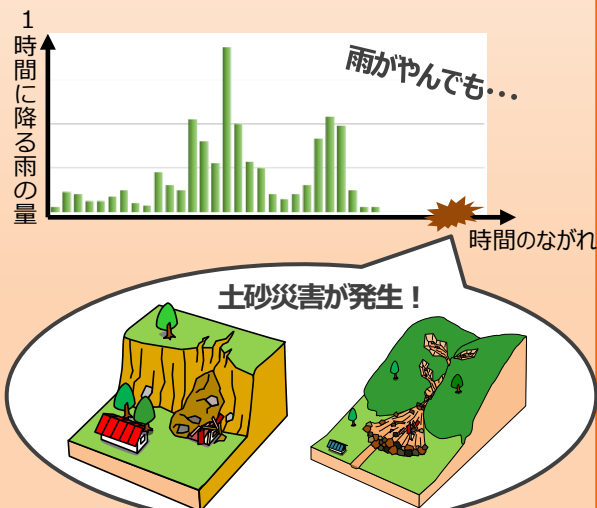


(参考)大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

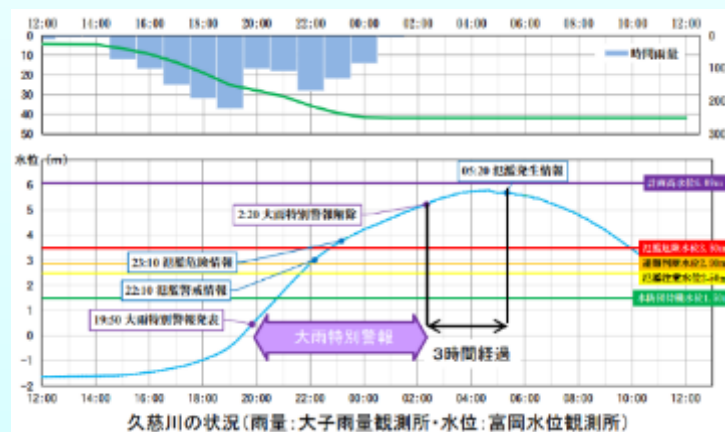
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

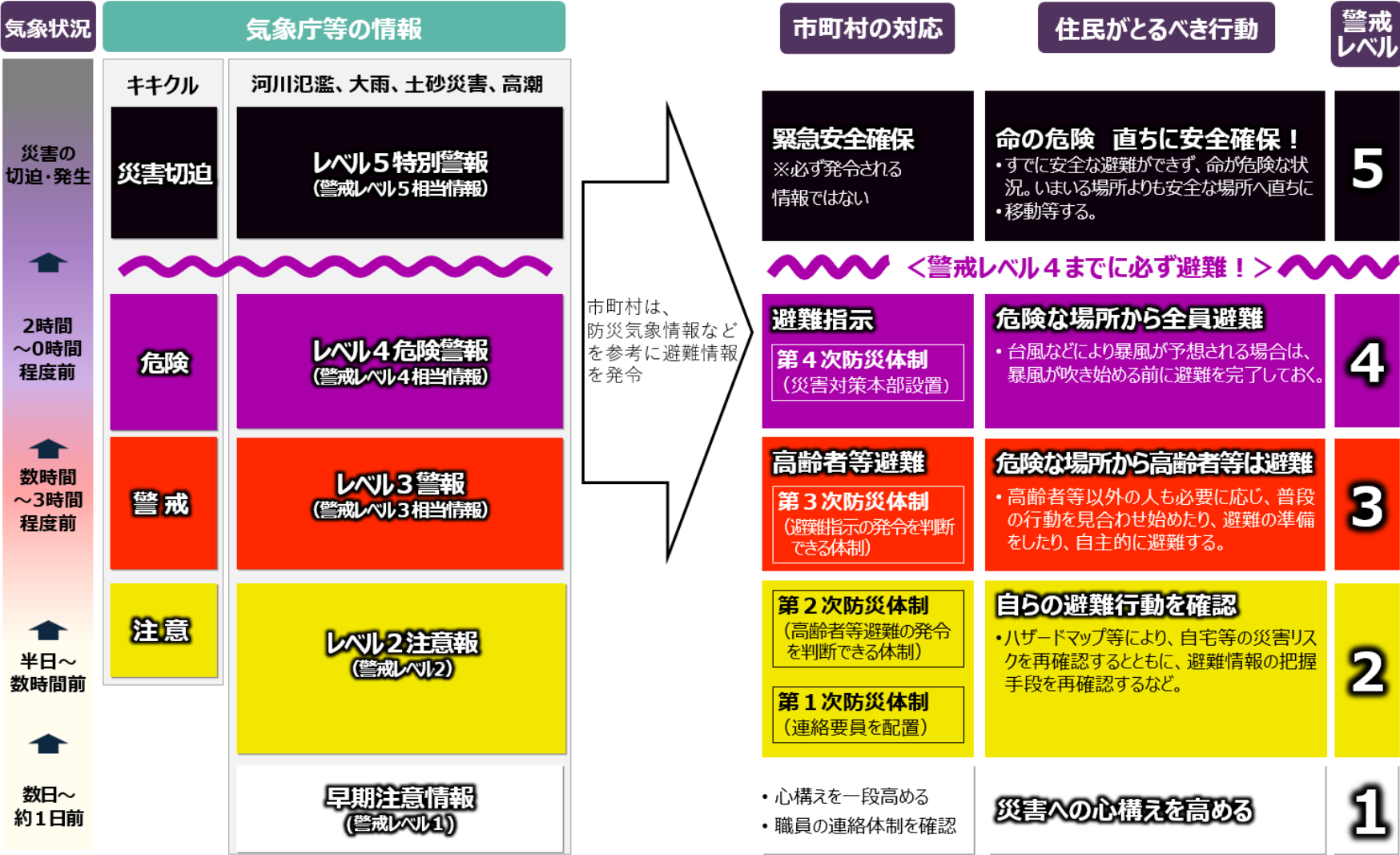
「自治体の避難情報」や「防災気象情報」を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

5段階の警戒レベルと防災気象情報



「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成